

大分大経済学部



記念碑の除幕式に出席した関係者 20日、大分市の大分大

創立100周年、記念碑完成 除幕式

【大分】創立100周年を迎える大分大経済学部の記念碑が大分市の目野原キャンパスに完成した。20日、除幕式があった。

記念碑は同学部の同窓会東京支部「東京四極会」（奥川隆生理事長）が寄贈した。高さ1・8メートル、幅2メートル。同窓生の書家、木山広喜さんが揮毫した。

高見博之経済学部長が同学部の歴史などを紹介。北野正剛学長が「経済学部がさらに大きく羽ばたくことを期待します」とあいさつ。四極会の石川公一会長が「次なる100年に向けて立派な学生を輩出してほしい」と話した。

同学部の前身となる大分高等商業学校は1922年に開校。44年に大分経済専門学校と改称。戦後の49年に現在の形となった。（藤沢香）